

八乙女

編集発行 南山見公民館

平成16年2月1日発行

No. 78

富山県東砺波郡井波町川原崎
TEL (0763) 82-5176

八乙女山に尊ぶ拝み喜寿春

朝倉一結



迎春

完成予想図

年頭のご挨拶

社会福祉法人マーシ園

理事長 箭原健二郎

あけましておめでとうございます。

皆様方にはご家族お揃いで新年をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、地域の皆様には格段のご協力を賜り誠にありがとうございました。本年もなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、当マーシ園も昭和三十四年の創設以来四十有余年の歳月を経て、利用者の高齢化や疾病の重度化が進み療護施設の設置が喫緊の急務となり、国や県、福祉圏域二市十町村、そして地元皆様のご支援ご協力を戴いて昨年以来進めてまいりました「療護施設」の建設も三月上旬完成、四月一日開業の運びとなりました。

新施設の事業内容は、「療護事業」「デイサービス事業」「身体障害者相談支援事業」に「地域交流スペース」を備えた事業体となり、既存の「授産施設」と相俟つて、両砺地区身体障害者の総合的な福祉施設としての役割を担って行くこととなります。

私達は、これからも「地域社会に愛され信頼されるマーシ園」を目指し、真摯に取り組んでいく所存でございますので、何卒、今後一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

申年の

新年を迎えて



今年思うこと

才川 絢也
(平成四年生)



今年、小学校最後の年なので、勉強、運動

とがんばりたいです。とくにバスケットボールは、また、県の大会に行けるように、練習にも真剣にとりくんでいきたいです。そして今年、最高学年になるので、みんなを引っばつていけるようにがんばりたいです。

気持ちを新たに

箭原 克昇
(昭和55年生)

年男ということ、一月二日には宮参りなどして昨年ま

います。



での自分とは何か違った身のひきしまるものを感じて

今年、特に、生活にも、仕事にも責任ある自分であるように努力し、周りの方々の意見をよく聞き、よく考えて家族や仕事、日常生活に於いて「気持ちを新たに」して過ごしたいと思っています。

二回目の干支を迎えて

江守 馨
(昭和55年生)



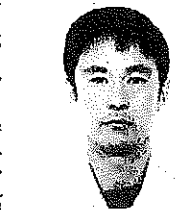
今年で二回目の干支を迎え、もう二十三年

も生きたのか、長いようで短い二十三年間だったという

今年は南砺市に...

前川 明洋
(昭和43年生)

毎年、年明け早々自分の誕生日を迎えるのと共に、また

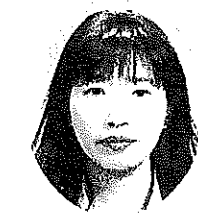


一つ年を重ねたなあと思いつつ早三十六歳。特に、今

年は、今まで慣れ親しんできた地域の名称も、南砺市に生まれ変わります。新しく生まれ変わるこの良き年と共に、自分も今まで以上に、仕事に於いては、技を磨き、また地域の為、人の為に一生懸命汗を流して行きたいと思っています。

気持ちを新たに

川原 恵子
(昭和31年生)



縁あって二十歳の時に新潟県からこの地に

嫁いで来ました。今年、四回目の申年を迎えました。これまでの間、色々なことがあり無我夢中で過ごして来たように思います。皆様を支えられ、趣味で習い始めた民踊も十八年続いています。今は孫達と一緒に好きな踊りにがっばつています。時間のある時には踊りを通してボランティア活動にも参加

春のように

高橋 幸子
(昭和31年生)



知らず知らずの時が過ぎ今年、四回目の干支を迎え改めて月日の流れの速さを感じます。

振り返ってみれば、早くして全く異なる環境での生活に飛び込み、つまずきながら、戸惑いながらも子供達の笑顔を支えに今日まで来たように思います。

その子供達も自分の足で、自分の思う道を選び、ゆつくりと歩き始めています。

私も走り続けて来たこの道を、この辺りで一度、深呼吸をし、これから先の道はゆっくりに、ゆったりと春のような気持ちで歩いて生きたいと思えます。

いつまでも夢と好奇心を持ちながら……

**これまでも
これからも**

松倉 三恵子
(昭和31年生)



新しい年を迎える度、平凡でも穏やかに過ごせるようにと思いつつながら、現実には慌たたく過ぎ去り、早くも四回目の干支を迎えるとは……この厳しい社会、家族や回りの人々に支えられながら『七転び八起き』、力強い雑草のような気持ちで生きてゆけたらと願っております。

還暦を迎えて

篠原 正三
(昭和19年生)

「甲申」が私の生れた年の干支



支であります。健康にも恵まれあつたという間の六十年

でありました。その間、数多くの皆様方の励ましに支えられ、改めて感謝しております。還暦は長寿社会の中では、まだ若いと自負しております。今後は、申に「イ」をつける「伸」になるように、才能や個性を伸ばし、柔軟性のある考え方、行動をして思いやりの深い豊かな心を持ち続け、感謝の人生を送りたいと思えます。

新たに

前川 諭
(昭和19年生)



今年で五巡目の申年を迎えられたことを大変嬉しく思います。

これも家族はじめ、地域の方々、多くの諸先輩のおかげと感謝いたしております。日々の生活、仕事であつたという間の六十年、新たな年へのスタートです。

何事も健康で新たな気持ちを忘れずに、前向きに生きてゆけたらと、思っています。「俗世間、つもりちがい十ヶ条、を心に刻み」

一期一会に感謝

亀田 せつ子
(昭和19年生)



還暦、もうそんな年？ 昨年、一昨年と

人生のはかなさを体験し打ちひしがれて迎えた節目の年です。幸い私の好きなこともさせてもらっていましたので趣味の同じ友達や周りの人、家族に支えられて今日までやってこられました。これからは茶道を通じ人々との出会い、一期一会を大切に自らを高め、地域の為に、何かお返しができるばいいなと思っております。

一日一日を大切に

林 好子
(昭和7年生)

輝かしい新春を迎え六回目



の申年を迎えさせていたことは大変嬉しく思います。

昭和九年に父親が盲腸で亡くなりその後、戦中戦後大変なことがばかりの人生を過ごして来ました。おかげ様で長生きさせてもらったことは家族をはじめ地域の皆様方のおかげ様と感謝の気持ちでいっぱいでございます。残された人生の一日一日を大切に感謝の気持ちを忘れずに毎日を送りたいと思えます。

感謝

高橋 信行
(昭和7年生)



この世に生を受けて六回目の申年を迎えさせていただきます。

元気でこの年まで色々な時代を過ごし世の中の移り変りの数々を見せてもらいました。ふり返ってみますと、多くの方々のお陰様であり家族の守りがあつてこそと感謝しています。戦後の物のなかつた時代にくらべ、

今の時代の便利さに一つ一つがありがたくてなりません。孫達と楽しい日々を過ごしている今日此頃、家族と仲良く暮らす心がけて健康に気を付けて一日一日を感謝の心で、より善い人生を送りたいと思えます。

あつという間の八十年

松井 まつい
(大正9年生)



昭和十七年に結婚して二月で主人は出征

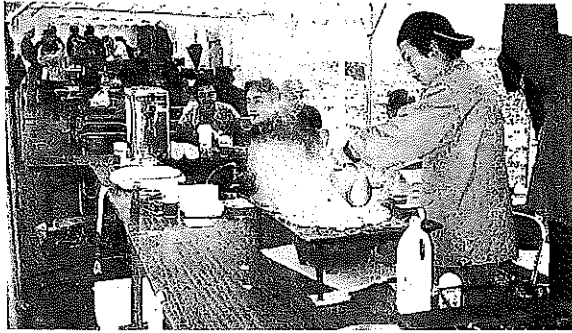
して行かれ、その間、おじいちゃんおばあちゃんが亡くなり、村の皆様方にお世話になり終戦を迎えることができました。終戦後の大変な時代に子供四人を育ててきました。あつという間の八十年余りが過ぎ去りました。今は息子夫婦に支えられ幸せに過ごさせていただいております。



第26回 南山見地区 ハ乙女文化祭

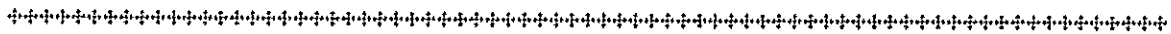


十一月九日第二十六回南山見地区ハ乙女文化祭が開催されました。朝から雨が降ったりやんだりの肌寒い天気でしたが、公民館前で



道路での青年部や壮年部の模擬店屋台からはおいしそうな匂いと共に、威勢のいい声が響いていました。館内では、各種団体の作品展示や見事な農産物の品評会コーナー、また婦人会による軽食コーナーや和室でのお茶席、たんぼ学級の喫茶コーナーなど盛りだくさんの出店が賑わっていました。ステージでは各地区児童クラブが一生懸命練習して来た創作劇や歌・楽器の成果を発表したり、各種グループの日頃の練習成果を披露していました。会場は笑顔と拍手や歓声など大変盛り上がっていました。とても楽しい一日を過ごすことが出来ました。

(母親クラブ 田村滋美記)



花だんづくりと クリスマス会

十二月

七日、児童クラブと母親クラブによるクリスマス会と、「花と緑の少年団」の活動の一環である花壇作りと花の種まきを行いました。

花壇作りでは、あいにくの雨の中でしたが「花と緑の銀行」の方々の指導のもとチューリップの球根を植えました。また今年公民館近くの道路の路肩に「ルドベキア」の花の種子を蒔きました。子供達は春にどんな花を見せてくれるのかと、とても楽しみにしていました。



クリスマス会では、ツリー



の飾りつけをした後、児童がそれぞれケーキに自分なりのトッピングをして、ケーキを完成させました。会食では、二人のサンタさんにプレゼントを頂いたり、サンタさんとジャンケンゲーム等をして、楽しい時間を過ごしました。

(児童クラブ 林倫則記)

町

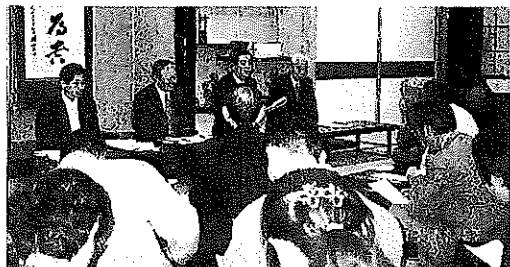
語る会

十一月十七日、南山見公民館和室において、町づくりを語る会が開催されました。

今年度は約六十名の参加があり、国際木彫刻キャンプの開催や新市の名称が「南砺市」に決定したこと、また衆議院及び町議会選挙が行われたこと、町の大型事業など井波町の十大ニュースの内容に沿って清都町長から町政報告がありました。

その後、参加者から要望や質問・提言がされ活発な意見交換の場となりました。主な内容は次のとおりです。

- ・地域農業の活性化について
- ・八乙女連絡道の展望について
- ・県道整備について
- ・町道院瀬見線の改修について
- ・南砺広域スーパー農道の工事予定について
- ・農道舗装について



- ・不動産周辺整備について
- ・住宅密集地における消雪装置の新設について
- ・下水道未着工地区の早期完成について
- ・合併後の公民館支援対策について
- ・戸板団地の計画について
- ・斎場について
- ・ラフォーレの第三期工事の展望について

他に、マーシ園の整備工事や治安対策などの質問も出されました。

また、昨年の木彫刻キャンプで中国のホン・タオさん制作の作品「生命の歌」が公民館に設置されることになった報告もありました。ご来館の際には是非間近でご鑑賞ください。
(事務局)

受賞のよろこび

平成15年度 井波町表彰

産業経済功労 亀田しげ子さん

教育功労 岩崎義一さん

社会福祉協議会長表彰

徳成花枝さん



今年には、特に、当町の清都町長が合併協議会会長を勤められて

山辺県議もお祝いに駆けつけられ、合併などの変革の年を皆様とともに乗り切つていきたいと思います。たくさんの地区民の皆様とともに新年の誓いを新たにしました。
(才川昌一記)

新年の集い

恒例となった、南山見地区の『新年の集い』が一月四日、来賓に清都町長始め、島田議長・高田収入役・山本綿貫後援会長をお招きし、南山見公民館で盛会に開催されました。



地区ビーチボール大会

第二〇回南山見地区ビーチボール大会が、十一月二十六日より四日間に行われ行われました。今年の大会も昨年同様、選手四名の合計年齢が一八〇才未満の部と一八〇才以上の部に分けて行われました。賑やかな声が体育館にひびき楽しい大会になりました。参加チームは十八チームでした。

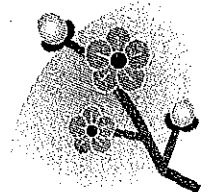
- 成績は以下のとおり。
- 一八〇才未満の部
 - 優勝 沖Aチーム
 - 次勝 院瀬見四チーム
 - 参勝 東城寺Aチーム
 - 一八〇才以上の部
 - 優勝 沖Cチーム
 - 次勝 沖Dチーム
 - 参勝 里領Cチーム

(事務局)

御寄付

一、体育館時計 老個 女性セミナー様
ありがとうございました。

成人特集



がはずみ、とつともにぎやかで微笑ましい雰囲気でした。ご来賓より若人として、責任を自覚し、さらに成長されることを願いますと激励のお言葉を頂き、当地区の澤田惇史君が力強く交通安全宣言をされました。式典のあと、新成人の企画で「成人者の集い」が開催され、スクリーンの思い出を見ながら小学校、中学校の恩師の先生よりお祝いの言葉をいただき心に残る成人式だったと思います。今年も公民館よりお祝いとして辞典をお贈りいたしました。

二十歳のみなさん、御成人おめでとうございます。井波町成人式は、冬にしてはめずらしい晴天の一月十一日、文化センターで盛会に行われました。それぞれに晴着姿の成人者は、受付をすませ式典会場へ。久しぶりに会った友達と話

新成人のみなさん

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| 院瀬見第一 | 田 | 賢 | 志 |
| 院瀬見第四 | 前 | 昌 | 人 |
| 清 | 山 | 大 | 輔 |
| 玄 | 崎 | 惇 | 史 |
| 谷 | 田 | 明 | 美 |
| | 浦 | 竜 | 太 |
| 戸 | 橋 | 梨 | 恵 |
| 里 | 崎 | 秀 | 紀 |
| 川 | 井 | 恭 | 史 |
| | 田 | 香 | 里 |
| | 三 | | |
| | 小 | | |
| | 岩 | | |
| | 碓 | | |
| | 池 | | |

南山見人口

男	577人
女	629人
計	1,206人

(平成15年12月31日現在)

お知らせ

2月15日(日) 午前9時より

第15回 三世代交流の集い

2月21日(土) 午後2時より

シルバー軽スポーツ教室

編集後記

国内的にも国際的にも「変革期」にあるなかで、新しい平成十六年の幕が開いた。

これまで「日本再生」をかけて、種々改革の手が打たれ、また、これからも打たれようとしている。

これらの手立て(施策)は、私達の生活と密接不可分で、とても重要な事柄ばかりです。

今年は大変重要な年です。私達一人一人が真剣に考え、「良いことは造り育て、悪しきは除く」ことが何よりも肝要かと思われまます。

「後悔先に立たず」。

田舎の蛙